

キクブランドウーとラトックシステム、酒造 DX で協業

「KPDのジャケットン + もろみ温制御くん」と「もろみ日誌クラウド」が連動、
対流を促す構造と遠隔管理で理想の品温管理を支援



この度、醸造設備の設計・製造をおこなう有限会社キクブランドウー（本社：広島県広島市、代表取締役：菊田 壮泰、以下キクブランドウー）とIoTデバイスとシステムの開発を手掛けるラトックシステム株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：近藤 正和、以下ラトックシステム）は、協業を開始しました。



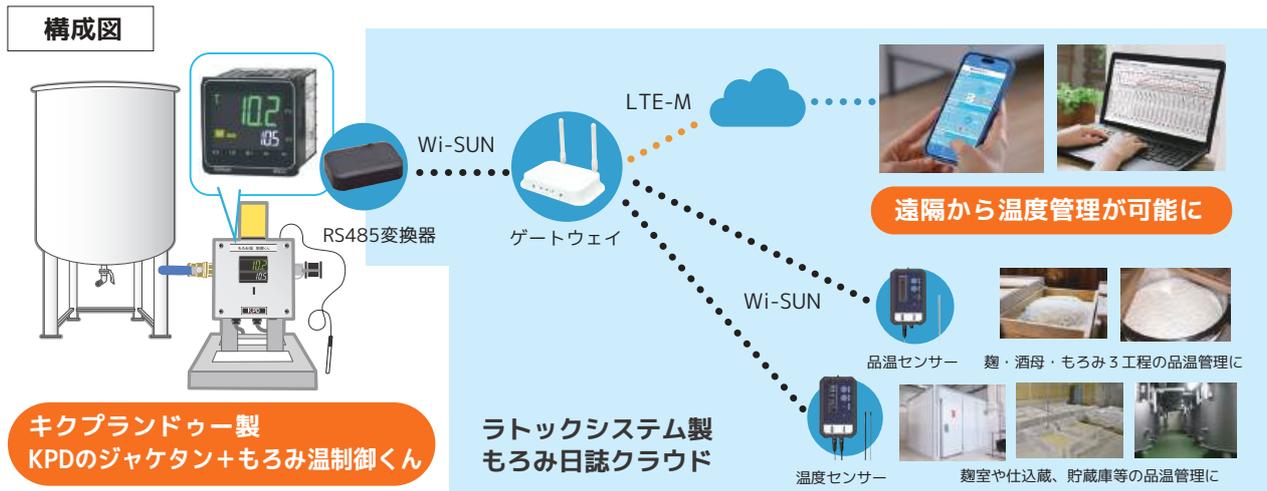
キクブランドウーが展開する「KPDのジャケットン + もろみ温制御くん」と、ラトックシステムの酒造向けクラウドサービス「もろみ日誌クラウド」を連動させることで、もろみ温度の安定制御と遠隔管理を可能にします。

経験に基づいておこなわれてきた現場での温度確認と調整を、データによる可視化と遠隔操作、さらに温度計画の自動実行によって支援。キクブランドウー製機器での精密な温度制御を、もろみ日誌クラウドを介して運用することで、酒造りの再現性向上と現場の労働環境改善を実現します。

協業の背景

伝統的な酒造りにおいて、もろみの品温管理は酒質を左右する重要な要素であり、杜氏や蔵人の経験による判断と日々の調整作業によって支えられています。一方で、酒造りにおいて、夜間や休日を問わず数時間おきに行われる品温確認は、現場の大きな肉体的・精神的負担となってきました。特に、少人数での造りを行う酒蔵では、酒質の維持と働きやすさをいかに両立させるかが、事業継続における最優先課題となっています。

こうした背景を受け、キクブランドウーの「構造設計による安定した温度制御技術」とラトックシステムの「クラウドによるデータ管理・遠隔操作技術」を組み合わせることで、酒造りのDXを推進します。

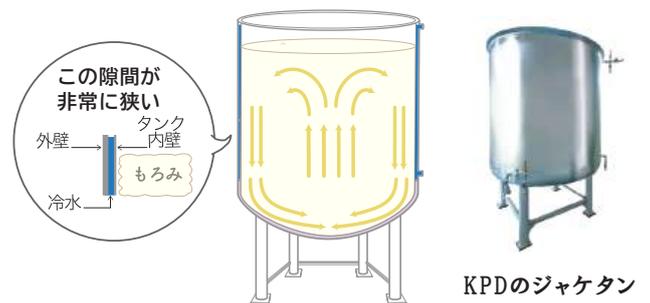


従来、蔵を離れている時間帯の急激な温度変化に対応するためには、現場に足を運んでその都度品温の確認と設定の調整をおこなう必要がありました。本環境では、冷やしすぎや温度ムラの不安を軽減するとともに、頻繁に発生する確認作業を抑えることができます。さらに、どこにいてもスマホで品温の確認と設定の調整、あるいは「温度計画」による自動制御が可能になることで、休日返上の見回りや度重なる現場確認の負担を軽減し、日々の省力化とよりよい酒造り環境の構築を支援します。

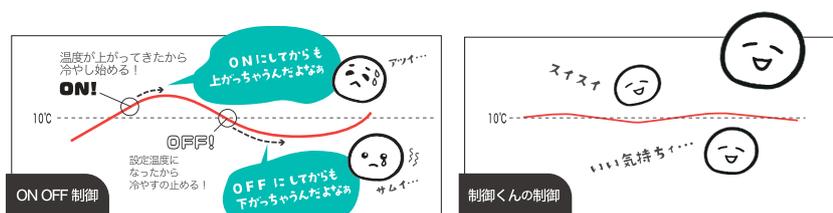
連動の概要とメリット

1. 対流を促す構造と冷水量の微調整による安定制御

「KPDのジャケット」は、タンク底部まで二重構造を採用し、もろみの自然な対流を促す設計が特長です。さらに内部仕切りを設けた薄型ジャケット構造により、冷水が均一に行き渡り、冷やし過ぎや温度ムラを抑制します。



「もろみ温制御くん」は、もろみ温度の変化に応じて冷水の循環量を細かく調整。ON/OFF制御に留まらない緻密な温度管理が可能で、急激な温度変化を避けながら、狙った品温を安定的に維持します。



一般的な温度制御

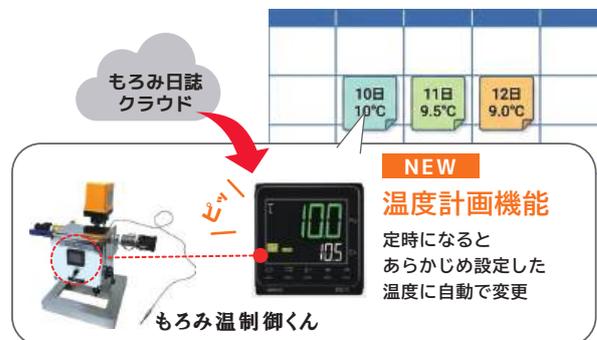
理想の対流を促す制御くんの制御

2. 対流を促す構造と冷水量の微調整による安定制御

「もろみ温制御くん」で計測された品温データは、「もろみ日誌クラウド」により 10 分単位で自動的にクラウドへ記録されます。どこにいてもスマートフォンからリアルタイムに品温を確認できるため、夜間や休日における見回りの回数を減らし、労働環境の改善に寄与します。

3. 遠隔設定変更と「温度計画」の自動実行

さらに本連動により、スマートフォンやパソコンから「もろみ温制御くん」の設定温度の変更が可能です。加えて、温度計画 (SV 計画値) 機能により、作り手が理想とする温度推移をスケジュールとして事前に入力し、自動で設定温度を変更することができます。仕込み工程に合わせた温度管理を効率化し、現場での都度調整の負担を軽減します。



4. 帳票作成の自動化による事務負担の低減

蓄積された品温データと日々入力している分析値を合わせることで、経過簿や製造帳の作成自動化を促進します。手書きによる転記作業をなくし、事務作業を大幅に省力化します。

今後の展開

両社は今後、本システムの導入拡大を通じて、IoT による可視化と現場の省力化を後押ししてまいります。また、利用者からのニーズに向き合い、継続的なシステムの改善や機能アップデートをおこなうことで、酒造業界における温度管理の高度化と、持続可能な酒造りの実現を目指します。

各社のコメント

有限会社キクブランドゥー 代表取締役 菊田 壮泰 氏コメント

私たちはこれまで、搾った後の酒の味わいを次の工程へできるだけそのままつなぐための管理を提案してきました。今回、その前段階であるもろみにおいて『KPD のジャケットン』と『もろみ温 制御くん』による温度管理に、ラトックシステム様の『もろみ日誌クラウド』の見える化と自動化が加わりました。理想の温度推移の再現性を高め、さらなる酒造りの探究と品質向上の一助となることを期待しています。

ラトックシステム株式会社 代表取締役社長 近藤 正和 氏のコメント

IoT の役割は、単なる省力化に留まらず、作り手が理想とする酒質をより確実に追求できる環境を整えることにあると考えています。この度、キクブランドゥー様との協業により、データに基づいた緻密な温度管理を狙い通りに再現できる環境を実現いたしました。『KPD のジャケットン』と『もろみ温 制御くん』の醸造技術と『もろみ日誌クラウド』の IoT 技術を融合させることで、伝統的な酒造りの知恵を、次世代へと繋いでいくことに貢献してまいります。

キクブランドゥーについて

設立：1998年2月10日

代表取締役：菊田 壮泰

所在地：広島市安佐北区倉掛二丁目 15-8

URL：<https://kikuplando.co.jp/>

事業内容：酒造業向け設備の設計・開発・製造を行っています。もろみ管理や搾った後のお酒の味わいを守るための管理など、酒蔵の製造工程に幅広く対応した製品づくりに取り組み、自社製品だけではなく酒蔵ごとの環境に合わせた他社設備の導入支援も行っています。

ラトックシステムについて

設立：1983年10月13日

代表取締役社長：近藤 正和

所在地：大阪市西区南堀江 1-18-4 Osaka Metro 南堀江ビル 8F

URL：<https://www.ratocsystems.com/sol/>（法人様向け）

事業内容：創業1983年。パソコン・スマートフォン関連のハードウェア、ファームウェア、アプリをワンストップで開発、販売しています。IoTデバイス開発とAWSクラウド連携によるシステムづくりを強みとし、自社システムのほか、お客様システムへの組み込み需要にも応えています。

関連 URL

- キクブランドゥー「KPDのジャケット + もろみ温制御くん」

<https://kikuplando.co.jp/originalproduct.html>

- ラトックシステム「もろみ日誌クラウド」

<https://www.ratocsystems.com/sol/moromi-diary/>

KPDのジャケット + もろみ温制御くんに関するお問い合わせ

キクブランドゥー

Mail：info@kikuplando.co.jp

TEL：082-843-8339

もろみ日誌クラウドに関するお客様からのお問い合わせ先

ラトックシステム株式会社 東京支店 コーポレート・ソリューショングループ

電話：03-5847-7600

メールフォーム：<https://www.ratocsystems.com/sol/contact/>